

# 避雷器を設置する際の注意点

同軸ケーブルに避雷器など他の機器を接続すると、通信に影響を及ぼすことがあります。避雷器を設置する場合には、下記の注意事項を守ってください。

- 本品は、同軸線へのサージ耐性として避雷器を接続しない状態で 4kV までのサージ耐性があります。  
※IEC61000-4-5 Level4 に相当

- 周囲環境により、避雷器の追加が必要な場合には、下記の注意事項を守ってください。

- ・動作検証済み避雷器：サンコーシャ製 CX-E-60
- ・避雷器を複数設置する場合は、避雷器同士を5cm以上離して設置。



- 避雷器を挿入した場合、ケーブル全体での抵抗値が増加し、ケーブルの延長距離が短くなることがあります。避雷器を設置した状況でループ抵抗の測定をしてください。

<参考 5C-2V、500m時>

カメラ側機器へ安定的に電力供給を行えるループ抵抗値目安：**20Ω以下** (4Ω/100m)

避雷器を設置した場合は、ループ抵抗値を **17.6Ω以下** になるようにしてください。

( CX-E-60 の直流抵抗値 = 最大1.2Ω/台、避雷器を2台設置時)

- 避雷器による信号の干渉により、伝送可能なカメラのビットレートが低下する場合があります。

<参考> PLC PHY層 240Mbps (実効：80%/フレームレート指定時の変動率150%)

上記の注意事項を満たさない場合、映像のカクつき、映像抜けなどが発生する可能性があります。